

## 流出油をバイオで処理する



タンカー等から油が流出する事故は環境に大きな影響を与えるので、素早く回収されます。しかし、回収した油は、現状ではすべて焼却処理されています。そこで、環境に配慮した新しい方法として、全国各地で生産されている「バーク堆肥」によって油をバイオ分解処理する技術が開発されました。CO<sub>2</sub>排出を削減する新しい時代の流出油処理方法をご紹介します。

油流出事故など海上防災に従事する方々に、また一般の環境業務・学習に取り組む方にも最適のシンポジウムです。

**日 時**：平成21年11月24日（火） 14:00-16:30

**会 場**：ホテル東日本盛岡 JR 盛岡駅 徒歩7分 （参加無料）

### <プログラム>

- 14:00 **開 会**
- 14:05 **基調講演「海の微生物と石油の意外な関係」**  
広島大学生物生産学部 准教授 長沼 毅
- 14:45 **講演「油流出事故への対応」**  
(独)海上災害防止センター 防災部部長代理 萩原 貴浩  
(15:25-15:35 休憩)
- 15:35 **講演「流出油のバイオ処理・バーク堆肥を使う新技術」**  
大分県産業科学技術センター 主任研究員 斉藤 雅樹  
実装アドバイザー 関 正明
- 16:20 **JST 研究開発成果実装支援プログラムの紹介**  
(独)科学技術振興機構 社会技術研究開発センター  
企画運営室長 篠崎 資志
- 16:30 **終 了**

## < 講師紹介 >

### 長沼 毅 (広島大学生物生産学部 准教授)

昭和36年神奈川県生まれ。筑波大学大学院博士課程修了。海洋科学技術センター研究員、カリフォルニア大学客員研究員を経て平成6年より現職。海底など極限環境の生物学が専門。マスコミ登場・講演も多く、わかりやすい語り口に定評がある。著書に『深海生物学への招待』『深層水「湧昇」、海を耕す!』『宇宙がよるこぶ生命論』など。

### 萩原 貴浩 (独)海上災害防止センター 防災部部長代理)

昭和37年兵庫県生まれ。近畿大学卒。海上保安大学校特修課修了。海上保安庁巡視船艇勤務を経て海上保安学校教官、本庁海上防災課勤務。平成7年より同センター主任教官、防災部長代理。米国テキサスA&M大学で武者修行。全国で発生する油・ケミカル流出事故、船舶火災などの現場第一線で指揮を執る。

### 斉藤 雅樹 (大分県産業科学技術センター 主任研究員)

昭和41年徳島県生まれ。東京大学卒。工学博士。政府機関勤務を経て平成9年より大分県産業科学技術センター勤務、平成15年より現職。杉の樹皮を原料とする油吸着材を実用化し全国に普及。その後、パーク堆肥微生物によるバイオ処理技術を開発し特許を取得した。

### 篠崎 資志 (独)科学技術振興機構 社会技術研究開発センター企画運営室長)

昭和37年千葉県生まれ。東京大学卒。科学技術庁に入庁し、原子力開発、海洋開発、情報科学技術、先端医学等の研究開発政策の企画立案を担当し、平成19年より現職。社会問題解決のための技術の研究、成果の実装等を進めていくためのプロジェクト企画、運営、評価方法の開発を行っている。

主 催：大分県産業科学技術センター

後 援：(独)科学技術振興機構 社会技術研究開発センター

海上保安庁、第二管区海上保安本部、(独)海上災害防止センター、海守  
環境省、NPO日本パーク堆肥協会



### 会場：ホテル東日本 盛岡

盛岡市大通3丁目3番18号

・JR「盛岡駅」徒歩7分

・東北道 盛岡ICより車で15分

ホテル駐車場の3時間無料券を差し上げます。

当日、会場受付でお申し出ください。

事前にFAXかEメール等でお申込みください。  
(先着100名、参加無料)

申込み・問合せ：

大分県産業科学技術センター 斉藤・大森

TEL: 097-596-7100

FAX: 097-596-7110

Email: m-saito@oita-ri.go.jp

http://aburabio.hp.infoseek.co.jp/

以下をご記入の上、FAX：097-596-7110までお送りください。(Eメール・お電話でも結構です)

大分県産業科学技術センター 斉藤 宛  
シンポジウム (H21.11.24 (火))  
「流出油をバイオで処理する」  
に参加を申し込みます。

機関名： \_\_\_\_\_

氏 名： \_\_\_\_\_ 参加人数： \_\_\_\_\_ 名

住 所： \_\_\_\_\_

TEL : \_\_\_\_\_